



室蘭市

室蘭が好き。みんなで創る、住み続けたいまち
～ まち・ひと・みなと つながりが未来を創る ～

〒051-8511 室蘭市幸町1-2 電話:0143-22-1111 FAX:0143-24-7601 URL: <http://www.city.muroran.lg.jp/>

- 市制施行 大正11年8月1日 ●市長 青山 剛 (~R5.4.30③)
- 人口 79,986人 (R4.1現在) ●世帯数 44,671世帯 (R4.1現在) ●面積 81.01km²

- 【市名の由来】 アイヌ語の「モ・ルエラニ」から転訛したもので、「小さな坂道の下りたところ」という意味。
- 【概観・特色】 太平洋に面し港と工業の街として発展。地球岬をはじめ、さまざまな景勝地や外海では鯨やイルカのウォッチングも盛んで特に夏場は北海道内外から多くの観光客が訪れています。
- 【マチの自慢】 製鉄・鉄鋼を始めとする「ものづくりのまち」であるとともに、外洋には地球岬などの景勝地や、鳴り砂、ハヤブサの生息地でもあり、自然と工業が調和したまちです。近年は、やきとり、カレーラーメンに加え、白鳥大橋や、工場群の夜景見学も行われるなど観光面での新たな取り組みが行われています。
- 【主なイベント】 撮りフェス in 室蘭 (9月)、スワンフェスタ (9月)、室蘭さかなの港町同窓会 (10月)、むろらん冬まつり (2月)
※開催については未定 (新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて判断する)
- 【主な観光地】 地球岬、白鳥大橋、イルカ・クジラウォッチング、室蘭夜景ナイトクルージング、白鳥大橋主塔登頂クルーズ、室蘭 de 手ぶらフィッシング
- 【主な特産品】 鉄鋼製品、精密金型機械、うずらの卵、昆布、室蘭やきとり、室蘭カレーラーメン、ポルト人形「ポルタ」



苫小牧市 「海と空」2つの港がある産業拠点都市

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5-6 電話:0144-32-6111 FAX:0144-32-2198 URL: <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>

- 市制施行 昭和23年4月1日 ●市長 岩倉 博文 (~R8.7.8⑤)
- 人口 169,528 (R4.1現在) ●世帯数 90,525 (R4.1現在) ●面積 561.58km²

- 【市名の由来】 アイヌ語の「ト」(沼の意)と「マコマイ」(山奥へ入っていく川の意)から転訛したもの。
- 【概観・特色】 太平洋に面した樽前山の麓に位置。日本初の大規模内陸掘込港の完成後、石油精製・自動車等の産業が集積し、製紙工場のまちから国際拠点港湾と国際空港を擁する道内有数の工業都市に発展しています。
- 【マチの自慢】 野鳥の聖域ウトナイ湖には、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターがあり、湖の生態系や渡り鳥の営み、生息環境などを展示や映像でわかりやすく紹介しています。また、湖畔にある道の駅は、交流・観光施設として注目を集めています。
- 【主なイベント】 とまこまいスケートまつり(2月)、緑ヶ丘公園まつり(5月)、苫小牧アートフェスティバル(7月)、とまこまい港まつり(8月)、たるまえサンフェスティバル(9月)、苫小牧漁港ホッキまつり(10月)、とまこまいマラソン(10月)、とまこまいコスプレフェスタ(11月)、とまこまいイルミネーション とマイルスクエア(12月~2月)
- 【主な観光地】 樽前山、オートリゾート苫小牧「アルテン」、ノーザンホースパーク、ウトナイ湖(バードサンクチュアリ)、ぶらっとみなと市場
- 【主な特産品】 ホッキ貝、ホッキカレー、ハスカップ製品、スモークサーモン、銘柄豚「B1 とんちゃん」、純米吟醸酒「美苦(びせん)」とまこまいカレーラーメン



登別市 人が輝きまちがときめく ふれあい交流都市 のほりべつ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11 電話:0143-85-2111 FAX:0143-85-1108 URL: <http://www.city.noboribetsu.lg.jp/>

- 市制施行 昭和45年8月1日 ●市長 小笠原 春一 (~R6.8.27④)
- 人口 46,135人 (R4.1現在) ●世帯数 24,384世帯 (R4.1現在) ●面積 212.21km²

- 【市名の由来】 市内を貫流する登別川を「ヌブルベツ」(色の濃い川)と呼んだアイヌ語に由来する。
- 【概観・特色】 支笏洞爺国立公園の中核に位置し、登別温泉を抱える北海道有数の観光都市であるとともに、本道で最も集積が進んだ重工業地帯である室蘭工業圏の一翼として発展してきました。
- 【マチの自慢】 9種類の泉質と1日1万トンの湧出量を誇る名湯「登別温泉」や北海道で最初に国民保養温泉地に指定された「カルルス温泉」を有しているほか、北海道遺産に選定された「登別温泉地獄谷」や近年人気の「大湯沼川天然足湯」などの自然の景勝地、3大テーマパークも魅力です。
- 【主なイベント】 登別温泉湯まつり(2月)、カルルス温泉冬まつり(3月)、鬼火の路、幻想と神秘の谷(通年)、地獄の谷の鬼花火(6月~7月)、登別地獄まつり(8月)、登別漁港まつり(9月)
- 【主な観光地】 登別温泉、カルルス温泉、サンライバスキー場、3大テーマパーク(のほりべつクマ牧場・登別伊達時代村・登別マリナーパークニクス)
- 【主な特産品】 登別の地場産品などを活用した「登別ブランド推奨品」全34品、ご当地グルメ登別閻魔やきそば

いぶりの11市町紹介

胆振の概況2022



伊達市 みんなが豊かさを感じられる市民幸福度最高のまち

〒052-0024 伊達市鹿島町20-1 電話:0142-23-3331 FAX:0142-23-4414 URL: <https://www.city.date.hokkaido.jp/>

●市制施行 昭和47年4月1日 ●市長 菊谷 秀吉 (~R5.4.30⑥)

●人口 32,901人 (R4.1現在) ●世帯数 17,713世帯 (R4.1現在) ●面積 444.21km²

【市名の由来】 仙台藩一門の巨理藩領主 伊達邦成が、家臣とともに集団移住して開拓したことにより命名された。

【概観・特色】 内浦湾に面した田園都市で、温暖な気候であるため「北の湘南」と呼ばれている。飛び地になっている大滝区は、大自然の中、ノルディックウォーキングや歩くスキーが楽しめるのと、温泉が有名です。

【マチの自慢】 温暖な気候の伊達地域、冷涼な気候である大滝区からなる多様な地理条件を生かし、100品目200種類以上の多種多品目の野菜が生産されており、四季折々に合った彩り豊かな旬の味覚を堪能することができます。

【主なイベント】 春一番伊達ハーフマラソン (4月)、おたき国際ノルディックウォーキング (7月)、伊達武者まつり (8月)、だて噴火湾縄文まつり (8月)、伊達雪まつり冬の陣 (2月)

【主な観光地】 有珠善光寺、史跡北黄金貝塚公園、だて歴史文化ミュージアム、三階滝自然公園、北湯沢温泉郷 (白絹の床)

【主な特産品】 伊達野菜、黄金豚 (ブランド豚)、藍染め、キンキのいずし、アロニア、きのこ



豊浦町 いい人 いいまち 明日を拓く

〒049-5492 虻田郡豊浦町字船見町10 電話:0142-83-2121 FAX:0142-83-2129 URL: <http://www.town.toyoura.hokkaido.jp/>

●町制施行 昭和22年7月1日 ●町長 村井 洋一 (~R8.2.22③)

●人口 3,731人 (R4.1現在) ●世帯数 2,080世帯 (R4.1現在) ●面積 233.57km²

【市名の由来】 末永く豊かであってほしいという願いと、海の幸・山の幸が豊かで内浦湾に面することから名付けられた。

【概観・特色】 「噴火湾」と呼ばれる内浦湾に面し、対岸の秀峰駒ヶ岳や渡島連山の美しい姿が眺望できる。多種多様なキャンプ場を設置しており、海や森など自然の中での憩いを求め、毎年、多くのリピーターで賑わいを見せる。また、日本一の秘境駅と呼ばれる「JR小幌駅」には全国から鉄道ファンが訪れている。

【マチの自慢】 内浦湾におけるホタテ養殖発祥の地であり、道内有数の養豚の町でもある。また、温暖な気候に育まれた「豊浦いちご」は初夏の風物詩となっている。町内唯一の温泉である「天然豊浦温泉しおさい」は泉質の良さと浴場の広さが自慢です。

【主なイベント】 まるごと豊浦「北の収穫祭」 (3月)、TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会 (3月)、いちご豚肉まつり (6月)、豊浦漁港豊漁まつり (10月)

【主な観光地】 豊浦海浜公園、インディアン水車公園、噴火湾展望公園、カムイチャシ史跡公園、日本一の秘境駅 JR小幌駅、岩屋洞窟、

【主な特産品】 豊浦いちご、ホタテ、豚肉



壮瞥町 夢・希望へチャレンジ 笑顔あふれる元気なまち そうべつ

～ふるさととは子どもたちへの贈り物～

〒052-0101 有珠郡壮瞥町字滝之町287-7 電話:0142-66-2121 FAX:0142-66-7001 URL: <http://www.town.sobetsu.lg.jp/>

●町制施行 昭和37年1月1日 ●町長 田鍋 敏也 (~R5.4.30①)

●人口 2,392人 (R4.1現在) ●世帯数 1,289世帯 (R4.1現在) ●面積 205.01km²

【市名の由来】 アイヌ語の「ソーベツ」(滝のある川) から転訛したもの。

【概観・特色】 北海道の南西部に位置し、町の中央を東西へ貫流する長流川流域では高級菜豆、くだものなど多くの農産物が生産され、また洞爺湖、有珠山、昭和新山、そして温泉など豊富な天然資源に恵まれた、農業と観光の町です。

【マチの自慢】 2009年8月、本町の全域を含む「洞爺湖有珠山ジオパーク」が、ユネスコ「世界ジオパーク」として日本第1号の認証を取得し、特有の景観、地質資源や火山遺構、温泉、大地のめぐみであるくだものや高級菜豆などの農作物などを生かしたまちづくり、観光地づくりを推進しています。また、「昭和新山国際雪合戦」は、雪に親しむニュースポーツとして年々話題を呼び、全国各地で予選大会が開催され、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンなどの国外でも大会が開催されています。

【主なイベント】 昭和新山国際雪合戦 (2月)、そうべつりんごまつり (10月)

【主な観光地】 洞爺湖、昭和新山、壮瞥公園、仲洞爺キャンプ場、くだもの村 (観光果樹園)

【主な特産品】 くだもの (さくらんぼ、ぶどう、りんご他)、高級菜豆 (大福豆等)、洞爺湖の露 (りんごジュース)、壮瞥シールド



白老町 みんなの心つながる 笑顔と安心のまち

〒059-0995 白老郡白老町大町1丁目1-1 電話:0144-82-2121 FAX:0144-82-4391 URL: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/>

- 町制施行 昭和29年11月1日
- 町長 大塩 英男 (~R9.3.4①)
- 人口 16,052人 (R4.1現在)
- 世帯数 9,350世帯 (R4.1現在)
- 面積 425.64km²

【市名の由来】 アイヌ語の「シラ・ウ・オイ」(アブの多い処)から転訛したもの。

【概観・特色】 胆振管内のほぼ中央、太平洋に面し、面積の約8割を森林が占める自然豊かな町です。2020年7月12日にアイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして、「ウボポイ(民族共生象徴空間)」がオープンし、新たに「国立アイヌ民族博物館」や「国立民族共生公園」、「慰霊施設」等が誕生しました。

【マチの自慢】 全国的な知名度を誇る「虎杖浜たらこ」や「白老牛」、「しいたけ」など、豊かな自然が育んだ山海の幸が勢ぞろいしています。また、豊富な湯量と優れた泉質が特徴で、地域で源泉かけ流し宣言を行った「虎杖浜温泉」や、全国的にも珍しい「モール温泉」があります。

【主なイベント】 白老牛肉まつり(6月)、虎杖浜かに・たらこ・温泉三大祭り(8月)、しらおいチェブ祭(9月)

【主な観光地】 ウボポイ(民族共生象徴空間)、ポロトミンタラ、ポロトの森(日本の遊歩百選)、史跡仙台藩白老元陣屋跡と資料館、クッタラ湖

【主な特産品】 白老牛、海産物(たらこ、毛がに、昆布)、鶏卵、しいたけ



厚真町 あつまる つながる まとまる 大なる田園の町あつま

〒059-1692 勇払郡厚真町京町120 電話:0145-27-2321 FAX:0145-27-2328 URL: <http://www.town.atsuma.lg.jp/>

- 町制施行 昭和35年1月1日
- 町長 宮坂 尚市朗 (~R6.7.7④)
- 人口 4,393人 (R4.1現在)
- 世帯数 2,114世帯 (R4.1現在)
- 面積 404.61km²

【市名の由来】 アイヌ語の「アットマム」(向こうの湿地帯)から転訛したもの。

【概観・特色】 胆振管内の東部に位置し、南北に細長く、太平洋に面した農村地帯です。豊かな森と海、黄金色に輝く田園が広がります。平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被害から、復旧・復興に一丸となって取り組んでいます。

【マチの自慢】 作付面積日本一を誇るハスカップが特産で、美味しい食材が実る豊かな自然に恵まれているながら、陸・海・空すべての交通アクセスに優れている都会近郊での田舎暮らしを実現できる町です。浜厚真海岸では、道内屈指のサーフスポットがあり年間5万人が訪れています。

【主なイベント】 あつま国際雪上三本引き大会(1月)、スターフェスタ・ランタン祭り(2月)、あつま田舎まつり(6月)、いも掘り観光(8~9月)

【主な観光地】 交流促進センター(こぶしの湯あつま)、大沼フィッシングパーク(野営場) 全天候型多目的土間体育館「あつまスタードーム」

【主な特産品】 ハスカップジャム、あつまジグスカン、おふくろみそ、シソジュース、トマトジュース、さくら米、あつま豚井、氷室メークイン、米愛豚(まいらぶた)



洞爺湖町 湖海(うみ)と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち

〒049-5692 虻田郡洞爺湖町栄町58 電話:0142-76-2121 FAX:0142-74-2121 URL: <http://www.town.toyako.hokkaido.jp/>

●町制施行 平成18年3月27日 ●町長 下道 英明(～R8.4.22①)
●人口 8,235人(R4.1現在) ●世帯数 4,712世帯(R4.1現在) ●面積 180.81km²

- 【町名の由来】 虻田町と洞爺村の町村合併を機に、全国的にも知名度のある「洞爺湖」にちなんで名付けられた。洞爺(トウヤ)はアイヌ語の「トヤ」が語源で、「湖水に面する肥沃な丘」を意味している。
- 【概観・特色】 北海道の中央南西部に位置し、湖(洞爺湖)と山(有珠山・羊蹄山麓)、そして海(噴火湾)に囲まれた洞爺湖温泉のある自然豊かな町で、野菜生産・畜産とホタテ貝養殖等に代表される観光と産業の町です。
- 【マチの自慢】 支笏洞爺国立公園「洞爺湖」と有珠山を中心とした「洞爺湖有珠山ジオパーク」として、近隣3市町とともにユネスコ世界ジオパークの認定を受け、さらには当町の入江・高砂貝塚は「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、世界文化遺産に登録されています。洞爺湖を中心とした美しい自然景観が堪能できるだけでなく、噴火口や泥流被害を受けた遺構を保存し有珠山噴火に備えた防災教育の場として活用し、魅力あるまちづくりを行なっています。
- 【主なイベント】 ロングラン花火大会(4月～10月)、洞爺湖マラソン(5月)、TOYAKOマンガ・アニメフェスタ(6月)、洞爺産業まつり(6月)、洞爺夏まつり(7月)、北海道トライアスロン(8月)、北海道ツーデーマーチ(9月)、洞爺湖温泉イルミネーションイベント(11月～3月)、洞爺湖温泉冬花火(2月)、とうや冬まつり(2月)
- 【主な観光地】 洞爺湖、有珠山(金比羅火口、西山山麓火口)、洞爺湖温泉街(手湯、足湯等)、洞爺湖ビジターセンター・火山科学館、道の駅あぶた、道の駅とうや湖、とうや水の駅、グリーンステイ洞爺湖(オートキャンプ場)、水辺の里「財田キャンプ場」、財田自然観察道、財田自然体験ハウス、入江・高砂貝塚、洞爺湖芸術館、北海道洞爺湖サミット記念館、洞爺湖湖上遊覧、中島・湖の森博物館
- 【主な特産品】 ホタテ貝、高級菜豆、セルリー、長いも、じゃがいも、シソジュース、香り漬(メロン鉄砲漬、セルリー粕漬など)、わかさいも、月浦ワイン



安平町 育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち

〒059-1595 勇払郡安平町早来大町95 電話:0145-22-2511 FAX:0145-22-2026 URL: <http://www.town.abira.lg.jp/>

●町制施行 平成18年3月27日 ●町長 及川 秀一郎(～R8.4.23②)
●人口 8,235人(R4.1現在) ●世帯数 4,712世帯(R4.1現在) ●面積 237.16km²

- 【市名の由来】 旧早来・追分分村前の村名「安平村」より。
- 【概観・特色】 緑あふれる森林と清流安平川、そして降雪が少ない気候の穏やかな自然に囲まれ、また空港や港湾が近距離にあり、鉄道網や高速道路が整備されているなど立地条件もよく、恵まれた環境の中にあります。
- 【マチの自慢】 優駿のふるさととして知られており、馬が駆け回る牧歌的な風景や豊富な農畜産物、ゴルフ場、温泉、キャンプ場などさまざまな地域資源があります。また、平成31年4月にオープンした道の駅あびら D51 ステーションには、日本遺産「炭鉄港」の構成文化財に指定される「蒸気機関車 D51_320 号機」と特急おぞらなどで活躍した特急車両「キハ183系」が展示されます。
- 【主なイベント】 ノーザンホースパークマラソン(5月)、菜の花さんぽ(5月)、あびら夏!うまかまつり(7月)
- 【主な観光地】 道の駅あびら D51 ステーション、ポッポらんど(柏が丘公園)、ぬくもりの湯(入浴施設)、鶴の湯温泉、菜の花畑、スポーツセンター「せいこドーム」、鹿公園(日本最古の保健保安林)、ゴルフ場町内5カ所、パークゴルフ場町内5カ所
- 【主な特産品】 カマンベールチーズ、雪だるま、アサヒメロン、グリーンアスパラ、ホワイトアスパラ、菜の花はちみつ、なたね油、追分カンロ、長いも、馬歯酒(町内産デントコーンを使用した焼酎)、日本酒「あびら川」



むかわ町 人と自然が輝く清流と健康のまち

〒054-8660 勇払郡むかわ町美幸2丁目88 電話:0145-42-2411 FAX:0145-42-2711 URL: <http://www.town.mukawa.lg.jp>

- 町制施行 平成18年3月27日 ●町長 竹中 喜之(～R8.3.22③)
- 人口 7,579人(R4.1現在) ●世帯数 4,006世帯(R4.1現在) ●面積 711.36km²

- 【市名の由来】 「むかわ」とは、アイヌ語が語源の「ムッカ・ペツ」(海の上げ潮のために、河口が砂でふさがれる状態のこと)が由来とされる。
- 【概観・特色】 道央圏の南方に位置し、札幌市や千歳市、苫小牧市にも近く、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。胆振管内で最も大きい面積を有し、東・北部は日高山脈系の外縁部に囲まれ、西部は勇払原野、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鶴川」が南北に縦走しています。海・山・川と多彩な自然環境に恵まれたまちです。
- 【マチの自慢】 肥沃な大地、豊かな森林、清らかな川が作り出す地域ブランド「鶴川ししゃも」「ほべつメロン」をはじめとする、品質の高い食材がたくさんあります。また、町営キャンプ場、たんぼ公園などの自然を満喫できる施設があるほか、豊かな自然を活かしたイベントも四季折々で楽しむことができます。穂別地区では、クビナガリュウ、アンモナイトなど海の生物化石に加え、国内最大の恐竜全身骨格化石(学名「カムイサウルス・ジャポニクス」、通称「むかわ竜」)が発掘され、白亜紀の海と陸の生物化石が揃う恐竜のまちとしても注目を集めています。
- 【主なイベント】 ArimoriCup マラソン大会(5月)、穂別流送まつり(7月)、鶴川大漁地蔵まつり(8月)、むかわグルメフェスタ(9月)、ししゃもファミリー駅伝大会(10月)、鶴川ししゃもまつり(11月)
- 【主な観光地】 道の駅むかわ温泉「四季の館」、パークゴルフ場、穂別キャンプ場、ほべつ道民の森、穂別博物館
- 【主な特産品】 鶴川ししゃも、ほべつメロン、むかわ和牛、長いも、南瓜、レタス、トマト、花き

(各データは各市・町調べ)

市町村名	提携先(締結年月日)
室蘭市	静岡県静岡市(S51.12.24)、新潟県上越市(H7.10.22)、ノックスビル市(アメリカ・H3.1.16)、沖縄県宮古島市(H10.8.3)、日照市(中国・H14.7.26【友好提携】)
苫小牧市	東京都八王子市(S48.8.10)、栃木県日光市(S57.4.16)、ネーピア市(ニュージーランド・S55.4.22)、秦皇島市(中国・H10.9.1【友好提携】)
登別市	宮城県白石市(S58.10.26)、広州市(中国・H24.11.15【友好提携】)、サイパン市(アメリカ・H18.11.20【友好提携】)、ファボー・ミッドフュン市(デンマーク・H19.6.10【友好提携】)、神奈川県海老名市(H27.5.18)
伊達市	宮城県亶理町(S56.4.17)、福島県新地町(S57.7.21)、宮城県山元町(S63.4.17)、宮城県柴田町(S63.5.30)、レイク・カウチン町(カナダ・H1.10.8)、大阪府枚方市(H18.9.1)、漳州市(中国・H22.4.7【友好提携】)
豊浦町	
壮瞥町	ケミヤルヴィ市(フィンランド・H5.5.22【友好提携】)
白老町	宮城県仙台市(S56.5.8)、青森県つがる市(H17.7.31)、ケネル市(カナダ・S56.7.13)
厚真町	岩手県奥州市(S58.6.18)
洞爺湖町	神奈川県箱根町(S39.7.4)、香川県三豊町(H19.7.1)
安平町	
むかわ町	富山県砺波市(H19.4.23)
胆振総合振興局	岩手県広域沿岸振興局(H29.6.19) ※宮古-室蘭間のフェリー航路開設を契機

(胆振総合振興局調べ)